

保温プレート付き業務用コーヒーマーカー 取扱説明書



コーヒーマーカーレンタル専門店

笑顔のボタンタッチ
上州物産株式会社

〒379-2166

群馬県前橋市野中町369-2

TEL：027-289-6080

FAX：027-289-6166

コーヒーマーカーレンタル専門店ホームページへアクセスする
場合はこちらのQRコードを読み込んでください。



目次

はじめに下記備品が揃っているかご確認ください	1
安全上のご注意	3
各部の名称とはたらき	4
使い方	5
クリーニングの方法	7
ご注意とお願い	8
仕様	8
返却時の梱包手順	9
梱包時 PP バンドの使用方法	12

はじめに下記備品が揃っているかご確認ください

- ・ 耐熱ガラスデカンタ：1.8L
- ・ コーヒー粉計量スプーン
- ・ 水計量器
- ・ ファンネル
- ・ コーヒーフィルター：10 枚
- ・ 排水ホース



耐熱ガラス
デカンタ：1.8L



コーヒー粉計量スプーン



水計量器



ファンネル



コーヒーフィルター：10枚



排水ホース

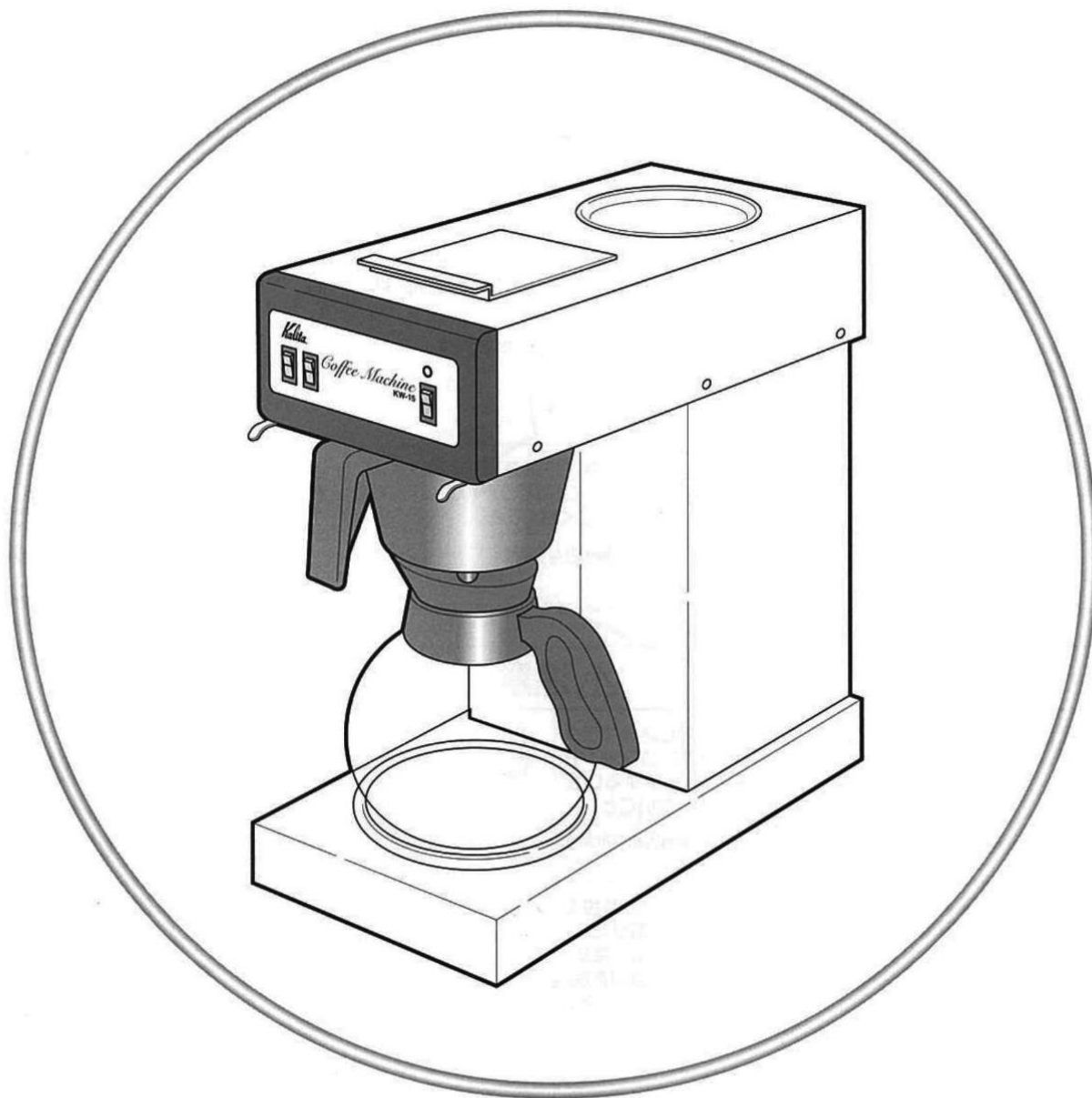
Kalita

取扱説明書（保証書付）

Coffee Machine

KW-15

カリタ業務用コーヒーマシンKW-15



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

この度は、カリタ業務用コーヒーマシン KW-15 を
お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正し
くお使いください。
・取扱説明書のイラスト（デザイン）と製品とは、一
部異なる場合があります。

安全上のご注意

- ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。
- 表示と意味は次のようになっています。

 注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。	 警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
---	--

*物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例		
感電注意  △は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。	分解禁止  ○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。	プラグを抜く  ●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告		
 分解禁止 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理は行わないこと。 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。 修理は、お買い上げの販売店またはお近くの「カリタ」にご相談ください。	 水かけ禁止 水につけたり、水をかけたりしないこと。 ショート・感電の恐れがあります。	 禁止 デカンタなしで使わないこと。 熱湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。
 コンセントを単独で使用する 定格15A以上のコンセントを単独で使用する。 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。	 禁止 差し込みプラグの刃および刃の取付け近くに、ほこりが付着している場合は、よく拭くこと。 火災の原因となります。	 プラグを抜く 手入れをするときは、必ず差し込みプラグをコンセントから抜くこと。またぬれた手で抜き差ししないこと。 感電・ショート・発火の原因になります。

注意			
 100V以外禁止 交流100V以外では使用しないこと。 火災・感電の原因になります。	 禁止 コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないこと。 感電・ショート・発火の原因になります。	 プラグを抜く 使用時以外は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜くこと。 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。	 プラグをもって抜く 差し込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜くこと。 感電やショートして発火することがあります。
 禁止 ガスコンロ等の炎や熱気のあたる場所に置かないこと。 火災の原因になります。	 禁止 コードを傷つけたり加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、また、重い物を載せたり、挟みこんだりしないこと。 コードが破損し火災・感電の原因となります。	 接触禁止 使用中、使用直後は、保温板（ウォーマー）が熱いのでさわらないこと。 高温のため、やけどの恐れがあります。	 禁止 使用中はデカンタを引き出さないこと。 やけどの恐れがあります。
 禁止 保温板（ウォーマー）の空通電はしないこと。 保温板（ウォーマー）が熱くなり、やけどをする恐れがあります。	 禁止 不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しないこと。 火災の原因となります。	 禁止 本体を運ぶときは必ずデカンタを別にして運ぶこと。 デカンタなどが落下し、破損したり、足をけがする恐れがあります。	 禁止 コーヒー粉、水は入れ過ぎないこと。 デカンタからコーヒーがあふれ、やけどをする恐れがあります。
 禁止 タンクに水以外のものを入れないこと。 異常動作することがあります。	 禁止 デカンタは直接火にかけないこと。 デカンタ把手などが溶けたり、発火することがあります。	 接触禁止 蒸気が出る所には手を触れないこと。 やけどをすることがあります。	 禁止 水のかかる場所や、湿気の多いところでは使わないこと。 火災の原因となります。

各部の名称とはたらき

上ウオーマー

デカンタ内のコーヒーを適温
(約80℃以上)に保ちます。

注水口 (フタ、フィルター付き)

注水フタを開け、ここから注水します。
フィルターはゴミ、虫等の異物の侵入を防ぎます。

ウオーマースイッチ

「ON」で通電、点灯します。

適温ランプ

貯湯タンク内の湯温が適温 (約95℃)
になると点灯し、抽出OKを知らせます。
電源スイッチ「ON」で通電、点灯します。

電源スイッチ

「ON」で通電、点灯します。

ファンネル

中に業務用立ロシをひき、コーヒー粉を入れます。

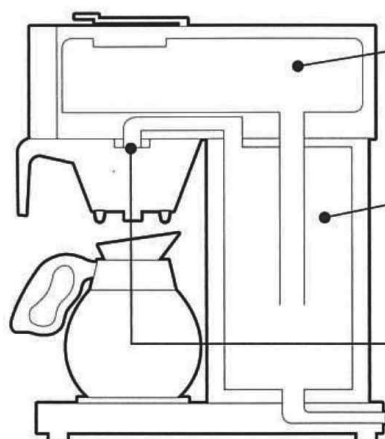
1.8Lデカンタ

耐熱ガラス製。
抽出コーヒー約1.8L入ります。

下ウオーマー

デカンタ内のコーヒーを適温
(約80℃以上)に保ちます。

〈構造断面図〉



給水タンク

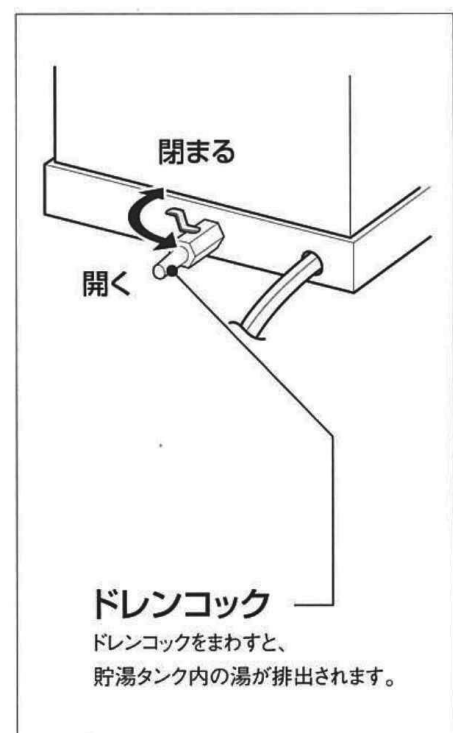
注水口から注がれた水は、この給水タンクにたまった後、徐々に下の貯湯タンクに入ります。

貯湯タンク

内容量約3Lのステンレス製。980Wのヒーターにより、約18分で95℃に達します。

シャワー (湯口)

コーヒー粉全体に湯を拡散し、コーヒーを抽出します。



業務用立ロシ

立ロシはコーヒーのおいしさを抽出し、不純物を取り除きます。
後始末も簡単、排水管を詰まらせる心配もありません。
立ロシはコーヒーマシンの御購入先へ御用命ください。

お使いになる前に

初めてご使用になるときと、長時間保管後にご使用するときには、洗浄のため2～3回水だけでドリップしてください。

<各部品の洗浄方法はクリーニングの仕方をご参照ください>

●付属品を水洗いし、水気をふき取ります。

コーヒーの抽出



1 まず本体をしっかりと台の上におきます。ドレンコックが閉まっていることを確認します。ファンネルを本体に差し込み、デカンタのフタを取り外してウォーマーにのせます。

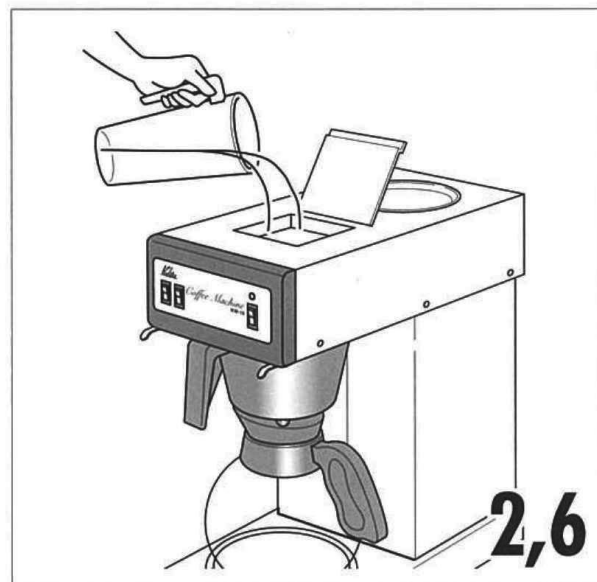
2 注水フタを開け、注水口より約3.5Lの水を給水タンクに注入してください。

●貯湯タンクが満水になると、水はファンネル下部より流出してきますので注水を止めてください。

●デカンタにたまった水を捨て、再びデカンタをウォーマーにのせます。デカンタのフタは必ず取り外しておいてください。

3 差し込みプラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」にします。電源スイッチが点灯し、約20分で適温ランプが点灯します。

注) ご使用になる電源は必ず100V・15A以上の専用コンセントからお取りください。



4 ファンネルに立ロシを敷き、人数に応じたコーヒー粉を入れます。

●ファンネルを軽く振り、コーヒー粉がほぼ平らになるようにならしてください。

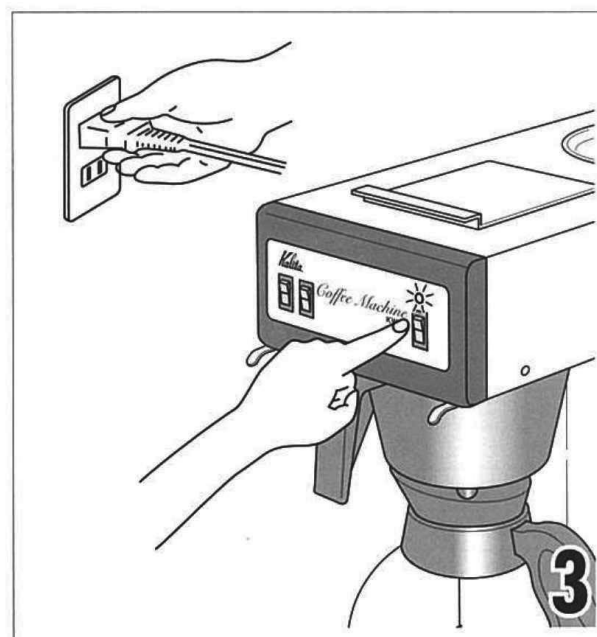
5 ファンネルを本体レールに沿って突き当たるまで差し込みます。

●デカンタのフタを取りはずし、ウォーマーにのせてウォーマースイッチを「ON」にします。

●水差しに水を用意します。(下記の数字は目安です)

コーヒー粉	注水量	抽出コーヒー量
50g	700c.c.	約600c.c.
75g	1,200c.c.	約1,050c.c.
100g	1,800c.c.	約1,600c.c.

注) 必ず700c.c.以上注水してください。水量が少ないと、抽出が不完全で抽出終了後再びシャワーよりお湯が出てくる場合があります。



使い方

6 適温ランプの点灯を確認し、注水口フタを開け給水タンクに注水します。

- ファンネルよりデカンタにコーヒーが滴下します。
(注水により適温ランプが消えますが故障ではありません。)

保温

デカンタ内のコーヒーはそのままウォーマーで、適温約80℃以上に保温されます。

- 上、下ウォーマーを使って2個のデカンタを保温する時は、上、下ウォーマースイッチを「ON」にして、ご使用ください。

注)保温中はデカンタの蓋は閉めてください。

保温されない時は、ウォーマースイッチは必ず「OFF」にしてください。

コーヒーは長時間保温しますと、風味が損なわれます。

連続して使用する場合には

- 2回目からの抽出は上記の手順を繰り返していただければ、おいしいコーヒーができあがります。なお約10分の間隔で、繰り返し抽出ができます。

業務終了・閉店する場合は

- 電源スイッチを押して、OFFにします。コンセントから差し込みプラグを抜いてください。

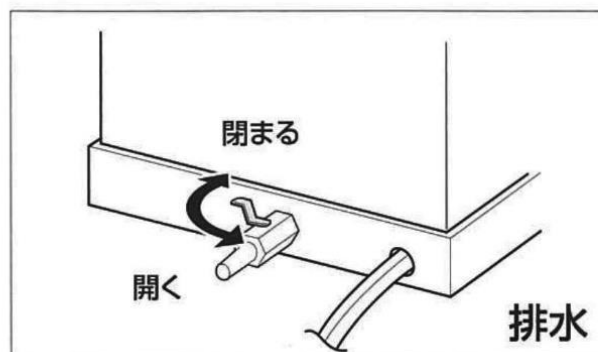
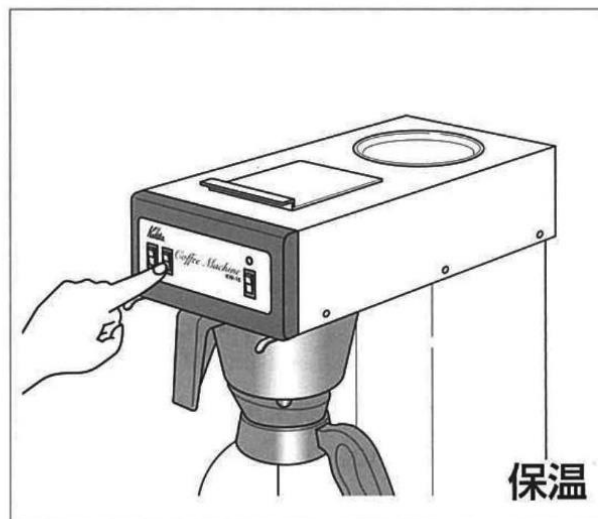
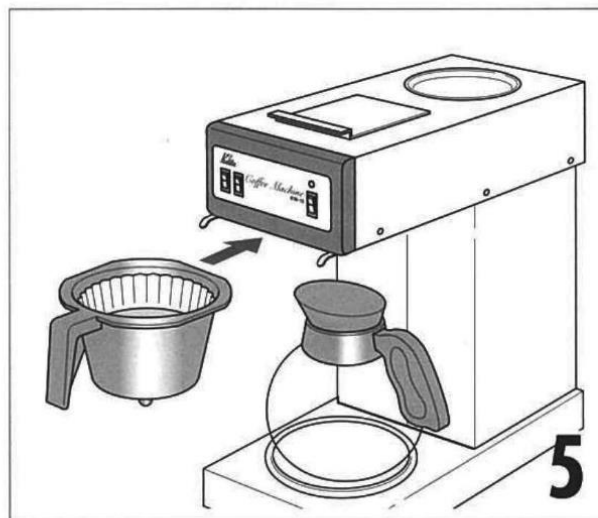
貯湯タンクの排水

必ず湯が冷めてから排水してください。熱いまま排水するとやけどをすることがあります。

- 1.電源スイッチ・保温スイッチを「OFF」にします。
- 2.差し込みプラグをコンセントから抜きます。
- 3.ドレンコックをまわして、排水します。

注)排水口から湯が勢いよく飛び出しますので、手や足にかからないように十分ご注意ください。

- 4.排水が完了したら、ドレンコックを閉めてください。



クリーニングの方法

この製品を長くご愛用いただくために、お手入れは定期的に行なってください。(必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。)

- 長時間ご使用にならない場合は、ボイラ内の水を完全に排水し、コンセントを抜いてください。その後再びご使用になる場合は、下記にしたがって洗浄してください。
- 寒冷地など気温が低くなる所でご使用になる場合は、貯湯タンク内の水が凍結し、貯湯タンクが壊れることがあります。凍結の恐れのある場合には事前に完全に排水してください。

本体外部のお手入れ

外側のお手入れは、中性洗剤を浸した布を硬くしぼって拭き、洗剤が残らないように乾いた布で拭きとってください。

ご注意

本体に水をかけたり、ベンジン・シンナー・化学洗剤などを使用しないでください。

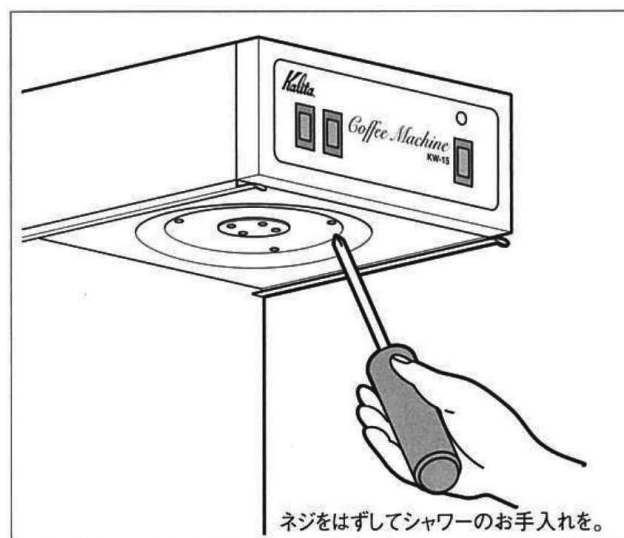
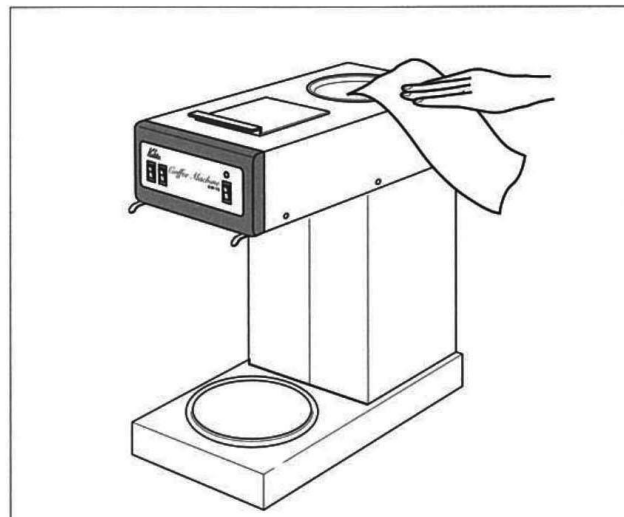
器体内部(貯湯タンク)のお手入れ

器体内部(貯湯タンク)のお手入れは、ドレンコックを閉め、注水口より注水し、貯湯タンクを満水にして、ドレンコックを開き排水させます。

上記水洗いを数回繰り返し、洗浄してください。

ご注意

ご使用直後は湯温が高いため、充分冷めてから行ってください。洗剤などは入れないでください。



シャワー(湯口)のお手入れ

シャワーは、水中の無機物質により目詰まりをおこしますので、定期的に水洗いをしてください。

ファンネル・デカンタのお手入れ

ファンネル・デカンタは、中性洗剤を入れた水か、ぬるま湯を使い柔らかいスポンジなどで洗ってください。洗剤が残らないよう、よくすすいでください。

ご注意

クレンザーやたわしの使用はさけてください。キズや変色を生じることがあります。

クエン酸使用による湯アカ除去法 (1カ月に1度の割り合いで行なってください。)

1. クエン酸(洗浄剤) 30gを1,200c.c.の水に溶かしてください。
2. 溶かした水溶液をコーヒーマシンのタンクに注ぎ、通电、抽出します。300c.c.ほど注出したら一時スイッチを切り、約10分間放置、その後再抽出します。
3. 抽出終了後はクエン酸(洗浄剤)を洗い流すために、水だけで2回の抽出を行ってください。これでやっかいな湯アカを取り除くことができます。不明な点はお取扱店又はカリタへお問い合わせください。

ご注意とお願い

次のことは必ず守ってください

- 1** お使いになる前には、必ずコードや差し込みプラグを点検してください。
 - コードや差し込みプラグはいたんだまま使いますと、やけど、火災などの原因となります。
 - コードがいたんだとき（被覆のはがれ、切りキズなど）は、販売店に修理をご依頼ください。なお、ご家庭での修理は事故の原因になることがありますのでおやめください。
- 2** コーヒーをあふれさせないために、次のことを守ってください。
 - 給水タンクに入れる水は700c.c.～1,800c.c.にしてください。
 - 使用中は給水タンクへ水をつぎ足さないでください。
- 3** デカンタ・ファンネルは湯の噴出が完全に終わってから引き出ししてください。
 - 途中で引き出しますと熱湯が直接噴出し、やけどをするおそれがあります。
- 4** 本体に水をかけたり、水をつけて洗わないでください。
 - 感電や故障の原因になります。
- 5** ご使用中やご使用後しばらくの間は、本体を動かしたり、保温板に手を触れないでください。
 - 湯口から熱湯が飛び散ったり、保温板の熱でやけどをするおそれがあります。
- 6** ご使用後は、必ず電源スイッチを押して「OFF」にし差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
 - コンセントから抜くときは、必ず差し込みプラグをもって抜いてください。
- 7** 必ず正しく配線されたコンセントを使用してください。
 - フタマタソケットなどを使って他の電気器具と同時に接続しての使用はおやめください。
 - 消費電力（1,120W）が大きいので使用場所には十分に注意してください。（KW-15/パワーアップ型は1,370W）
- 8** タンクの中には、熱湯・コーヒー・牛乳など水以外のものは入れないでください。
 - 熱でタンクが変形したり、故障の原因となります。
- 9** タンクに水を入れたまま放置しないでください。
 - 水が腐敗したり、故障の原因となります。
- 10** ビニール製のテーブルクロスやジュウタンなど熱に弱い敷物などの上で使用したり、サーバーを直接おいたりしないでください。
 - 敷物の色や形が変わることがあります。
- 11** デカンタを電子レンジで温めることはおやめください。本体は火気の近くにおかないでください。
 - トッテ・本体が変形したり、焼けることがあります。
- 12** 本体を運ぶときは、必ずデカンタを別にして運んでください。
 - デカンタが落下して破損することがあります。
- 13** 寒冷地では使用後に必ずタンク内の水を空にしてください。
 - タンク内に残った水が凍結しタンク破裂の原因になります。

仕 様

型 式	KW-15スタンダード型、KW-15/パワーアップ型	貯 湯 タ ン ク	ステンレス製 内容量約3.0L
電 源	AC100V 1,120W（湯沸し部980W 保温部70W×2）、 AC100V 1,370W（湯沸し部1,230W 保温部70W×2）	沸き上がり時間	初回約18分 2回以降約10分（水温20℃）
サイズ（mm）	幅200×奥行372×高さ470	噴 出 温 度	90℃以上
質 量	8kg	適 温 表 示	ネオンランプ沸き上がり時点灯
最大使用水量	1.8L	空だき防止装置	ダイヤフラム式圧力スイッチ
給 水 方 式	落差オーバーフロー式（700～1,800cc/サイクル）	コード有効長	1.9m
給 湯 方 式	貯湯式	温 度 ヒ ュ ー ズ	169℃
排 水 方 式	ドレンコック（器体後部）	付 属 品	1.8Lデカンタ、プラスチックファンネル#15、 立口シ27cm

返却時の梱包手順

梱包準備

1



- ・耐熱ガラスデカンタ：1.8L を空にしてください。

2



- ・ファンネルの中に残っているコーヒー粉、コーヒーフィルターを捨ててください。

3



- ・ドレンコック（排水コック）を開けて、貯水タンク内に入っているお湯を空にしてください。

※排水する際には、必ず排水ホースを取り付け、バンドでとめてください。使用直後だと90℃以上の熱いお湯が出てくるので危険です。

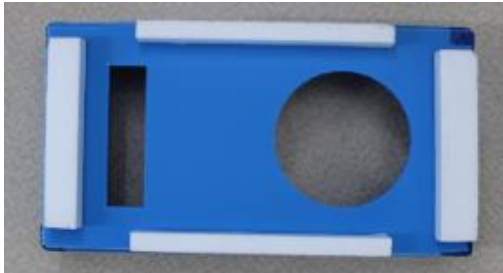
4



- ・貯水タンクが空になったら、排水ホースを取り外してください。

梱包手順

5		・箱（小）に下記備品を入れてください。 - ーデカンタ - ーコーヒー粉計量スプーン - ー水計量器 - ーファンネル - ー排水ホース
6		・箱（小）を保温プレート付き業務用コーヒーマーカーにはめ込んでください。
7		・地面にPPバンドを1本ひき、その上に箱（大）をのせてください。
8		・保温プレート付き業務用コーヒーマーカーと箱（小）を箱（大）に入れてください。
9		・取扱説明書を箱（大）に入れてください。

10	 ウォーマープレート とフタの丸穴の位置 を合わせる	・ 上から保護用のフタを被せてください。その際、コーヒーマーカーのウォーマープレートとフタの丸穴の位置を合わせてください。 
11		・ 箱を閉め PP バンドでとめてください。 ※PP バンドのとめ方は次のページの「梱包時 PP バンドの使用方法」をご確認ください。
12	▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。 返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。 梱包の箱に貼り付けてあります。 お届け時の伝票の下にある赤い伝票が 返却用の伝票です。 	

梱包時 PP バンドの使用方法

①



輪をつくる。

②



つくった輪をストッパーに通す。

③



1本の足を輪の中に折りたたむ。

④



バンドを矢印の方向に引っ張る。

⑤



荷物に回したもう片方のバンドも同様に通す。

⑥



ひもを両端に引っ張り、しっかり締める。